

「歩く県道・東松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H27 Vol.2

県道別舟渡線の交通不能区間となっている東松峠（旧越後街道）を、「歩く県道」として整備、利活用し地域の活性化に繋げるために、街道修繕の実証実験（道普請）を行いました。人力による施工、コンクリートや鉄に頼らない施工を基本とし、参加者全員が協力して作業を行い、訪れた人がくつろげる休憩スペースや安全にウォーキングを楽しめる道に仕上げることができました。峠の茶屋に向かう道についても、昨年に引き続き会津坂下町役場と協力・連携して補修作業を行いました。

◆道普請の概要◆

- 日時● 平成27年10月10日（土）・11日（日）
- 参加者● 東松峠を守る会、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員、会津坂下町役場、福島県 2日間の延べ人数 80名

道普請1日目は、洞門前の広場に、腰をかけたリ背を預けたりすることができる土塁を整備しました。土塁の基盤部分を掘削して整地し、施工に必要な土砂を洞門入口周辺を塞いでいる土砂を利用して運搬しました。約250枚の土のう袋に、運搬してきた土砂を充填して、土塁の形（台形）になるように積み上げ、種子付きのムシロを張って完成させました。

基盤部分の掘削作業



大きな木の根が出てくることもあり、それらを除去しながら掘り進めました。

土砂の運搬作業



大量の土砂が必要だったため、交代しながら、何回も繰り返して運搬しました。

土のう袋の積み上げ



重い土のう袋を2人1組で運び、安定するように丁寧に積み上げました。

施工後の様子



子供達が元気にVサイン。今後、広場がどのように利用されていくか楽しみです。

2日目は、会津坂下町主催の「峠の茶屋」に向かう道の補修に協力しました。岩が露頭し降雨時に滑りやすい箇所には、丸太を利用した階段工を施工しました。昨年度は、スコップや唐鍬で岩を掘削し作業が難航したため、今年度は、電動ドリルを使用。岩盤と丸太に穿孔し鉄筋杭で固定することで安定させ、安全に歩けるようにしました。

丸太の運搬作業



重い丸太を手分けして運搬しました。施工箇所までが遠いので重労働でした。

丸太の設置作業



雨水が流下して浸食されないように、丸太を工夫して配置しました。

丸太への穿孔作業



電動ドリルにチャレンジ！地元の人達からアドバイスを受けてがんばりました。

施工後の様子



丸太がしっかりと固定され、安全に歩ける道になりました。

今年度の道普請も、多くの方に御協力をいただき、2日間の工程を無事に終えることができました。道普請を実施している最中にも、峠道を歩く人の姿が見られました。より多くの人に歩いていただける道となるよう補修を継続し、活用方法について地域の皆様とともに考えていきたいと思っております。

第2回歩く県道（東松峠）地域づくり検討会を開催しました

- 日時● 平成27年12月4日（金）15時～ 東松振興センターにて
- 参加者● 東松峠を護る会、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員、会津坂下町、福島県、合計19名
- 話し合われたこと●
 - ✦ 今年度の道普請を振り返って意見交換を行いました。
 - ✦ 来年度以降整備したい箇所と整備方法について話し合いました。
 - ✦ 「新日本歩く道紀行100選シリーズ」の選考結果について報告を行いました。



検討会での主な意見や感想

今年度の道普請を振り返って

- ✦ 土塁作りは、土砂の運搬や土のう袋への充填・積み上げ作業が大変だった。土塁を作ったことで開けていた空間を憩いの場にする事ができた。
- ✦ 洞門入口周辺の岩混じりの土砂を掘削する際に、スコップが刺さらなくて苦労した。今後は作業方法を工夫した方が良い。
- ✦ 大人数（40名）が協力して施工し、立派な土塁が出来たことに感心した。
- ✦ 洞門の中に人が入らないように、ロープを張ったり注意喚起の看板を設置するなどの安全対策が必要だ。
- ✦ これまでの経験が活かされ、作業手順を考えて丸太の配置を決めるなど、参加者が協力し合ってスムーズに施工することができた。
- ✦ 階段工を施工した箇所は、災害時に備えて車の通行も可能な状態にしたい。次年度以降、碎石や土を入れたり丸太を少し削いだりする作業を行いたい。

土塁を施工した洞門前広場



土塁を延長し、空間をより豊かにしたい！

洞門入口の様子



事故を未然に防止するための安全対策が重要です。

峠の茶屋跡



「歴史の道」として、サイン計画も含めた保全のあり方を検討する必要がある。

来年度の予定について

- ✦ 洞門前広場の土塁を延長して施工し、景観を整えたい。
- ✦ 峠の茶屋に向う道の分岐点から少し上った箇所の岩が露頭していて、降雨時にすべりやすい。役場の協力を得て安全に歩けるようにしたい。
- ✦ 雪解け後に現地調査を行い、整備の必要な箇所や施工方法について検討を行うこととする。
- ✦ 西会津で「越後街道野澤宿街道交流会」が開催されるなど、峠道活用の気運が高まりつつあり、今後、利用者の増加が見込まれる。
- ✦ 全体のサイン計画を、統一化されたデザインで考えたい。

「新日本歩く道紀行100選シリーズ」の選考結果について

- ✦ 町では「歴史の道」100選として選定されたことを、広報誌等で紹介する予定。今後も協力して東松峠を活用した取り組みを盛り上げていきたい。

～検討会終了後にそば会を開いていただきました～

検討会終了後、地元のみなさんに打っていただいた美味しいそばのもてなしを受けました。これからも、地域のみなさまと意見交換を重ね、連携した地域づくりを進めて参ります。今年度3回目の検討会を2月頃に開催し、越後街道（東松峠）を活用した地域づくりについて話し合いを行う予定です。検討会へ参加していただき、多くの意見をお聞かせ下さいますようお願いいたします。



ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459